

- 頑張る1年生にインタビュー
- れいめい教職員コラム
- ジャンプアップれいめい中学生！生徒の成長を紹介
- 四コマ劇場「タフだぜ！たふやん」

れいめい中学校があなたの成長を応援する広報誌

自分でやる



中学1年生
きよみず みか
清水 美香さん
(山崎小出身)



—ピアノが好きになったきっかけなどあれば聞かせてください。

最初のピアノの先生がきっかけだと思います。私はリズムをとるのが苦手で、その練習で先生と一緒にダンスを踊ってくれたりして、すごく楽しくてピアノの練習が大好きになっていきました。

—ご両親はその頃の思い出などありますか？

(母) 先生は娘が小学4年生の時に亡くられたんです。その時に先生のピアノを購入させていただくことになって、今も自宅で弾かせていただいています。本当にいい先生で、最後まで娘のことを気にかけてくださっていて、「最後まで見たかった」って言ってくださっていました。

中学1年生、清水美香さん。先日行われた「南日本ジュニアピアノコンクール」で入選を果たした。年長の時からピアノを始めた美香さん。大好きなピアノに励みつつ、学業にも情熱を燃やす美香さんに、これまでピアノを続けてきた思いや、これからの目標を聞きました。

—先生との思い出が詰まったピアノなんですね。

これからの目標や課題などありますか？

コンクールがいくつか続くので頑張りたいです。全体的にまだまだと思っていますが、特に先生ともたくさん練習したリズムを正確にとれるようにしていきます。

—将来の夢はピアノに関わることなんですか？

小学生のころは音楽の先生になりたかったんですが、今は航空管制官になりたいなどと思っています。ドラマの影響なんですが、そのために英語を頑張っています。英検でも、もっと上の級が取れるように勉強しています。



ご両親は、ピアノの練習や勉強に関して声掛けをすることは無いそうです。学校から帰れば、読書やアニメ鑑賞など趣味の時間を少し過ごすと、自分で机に向かってその日の学習に励んでいるとのことでした。自ら考え行動する美香さんの今後の活躍が楽しみです。

学びたいを支えたい

—れいめい教職員コラム—

あなたを応援したい教員が、交替で書くコラム。内容は、勉強のことから趣味のことまで様々です。

「人生は恩返し」



1年生担任
荒木 健志
(開聞小出身)
教科：理科

私が教師になって今年が10年目になります。実は、鹿児島県で教員をするのは今年初めてです。それまでは大阪府で7年間、福岡県で2年間公立中学校の教員をしていました。

なぜ公立中学校を退職して鹿児島に帰って来たかと言うと、私を育ててくれた親や故郷に「恩返し」をしたかったからです。正直な話、親や友人、職場の同僚などには反対されたのを覚えています。このご時世、公務員として働くことはどこか安定していて、苦勞の少ないイメージがあり、わざわざ退職して鹿児島で私立の教員をしなくていいのではないかと説得されたのを覚えています。

しかし、人生の選択を最後に決めるのは自分自身です。最後は、自分の気持ちに正直になって鹿児島に帰ることを決断しました。そして、こんな私を受け入れてくれた川島学園れいめい中学校・高等学校には本当に感謝をしています。今度は、私がこの場所から「恩返し」をする番だと思っています。

私が考える恩返しは、恩をくれた人へ返すことだけが恩返しだとは思っていません。もらった恩をまた他の誰かへ返していくのも一つの恩返しではないかと思っています。大それたことはできないのかもしれませんが。しかし、これから出会う人たち一人ひとりをもっともっと大切に、自分がもらった恩を返していくようなそんな人生にしていきたいです。

ジャンプ U R れいめい 中生!



れいめい生徒会所属のくま(?)
不屈不撓の心をもつ「たふやん」
の日常を描く四コマ劇場

中学2年生
あらた まお
荒田 真生さん
(串木野小出身)



『『あこがれ』
をめざして』

「まっすぐに生きてほしい」そんな思いを両親が込めてくれたのだと、名前の由来を語る真生さん。

学業に加えて、「習字」や「杖道」といった習い事にも通っているそう。父と姉弟とともに通う「杖道」は家族の交流の時間にもなっているようです。

明るくインタビューに答える真生さんは「小学生の時はつらいこともあって、人とかかわるのが怖かった時もあったんです。」と教えてくれました。れいめい中に入

学して心境が変わったのは友人との出会いがあったから。

「中学生になってできた友達はすごくメンタルが強い子達でした。嫌なことがあっても笑い飛ばす友達を見て、素直にすごいと思いました。」

そして、友人以外にも影響を受けた人がいます。

「好きなユーチューバーさんがあきらめずに前を向いて頑張る姿に元気づけられました。今、具体的に将来の目標はないけ

ど、『笑って前を向ける人』になりたいと思います。」

さらに現在は、英語の学習がおもしろくて、毎時間楽しみにしているんだそう。

「教科担当の丸山先生が楽しくて興味が持てるような仕掛けをたくさんしてくれて、すごくわかりやすく英語が好きになりました。」

あこがれた人を素直に見て、まっすぐ目指す真生さんは、これから前を向いて歩いていくでしょう。



暗号

※「杖道」は「杖」を使って行う「神道夢想流杖術」を基に作成された現代武道自由に打ち合わない形武道の一つで、その目的は「精神の修養と身体の鍛錬を第一義とする」とされている

中学2年生
しもさかいだ かい
下境田 快さん
(亀山小出身)



「不利に負けない」

U15の大会ではディフェンスやパスでいいプレーができたという快さん。「れいめいバスケット部でプレーもメンタルも成長できました。」と教えてくれました。

入学したての頃は、3Pシュートがリングに届かないなど、フィジカルにも問題を感じていたそうです。日々のトレーニングで3Pシュートも決められるようになっていった快さんは、ポイントガードというポジションで、メンタルの成長も実感しています。「ポイントガードはゲームメイクするポジションです。小学生の時は相手

が大きくて強そうだと、緊張してうまく動けずに周りが見えなくなりました。今は、自分の動きができてチームメイトへの声も大きく出るようになりました。」

快さんの成長はともに歩んできた同級生の影響もあるようです。「2年生は3人しかいません。3年生の先輩たちが九州大会出場という結果を残しているため、少しプレッシャーに感じています。その代だけ弱かったと言われたくないので頑張りたいです。そういう思いもあって2年生はすごく仲がいいです。」

そして、小柄な快さんは、自分の体格を言い訳にはしたくないという思いがあります。「体が小さくて、不利でも大きい選手に負けないよう努力しています。」

仲間とともに課題に立ち向かう快さん。

快さんとれいめいバスケット部の活躍を期待しています。



イベント告知 入試のポイントを詳しく解説!!

10/22 (土) ・ 11/19 (土) 入試説明会

申込み、詳細はチラシ、ホームページから



れいめいの情報が満載のホームページはこちら▲